



結

索

結索とは文字のとおり、索（ロープ）を結ぶことを言い、ロープワークといえは聞き覚えがあるという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

海上自衛隊で勤務する上で、船乗りとしてはもちろん、陸上部隊でも作業で索を使う機会は意外と多いです。不適切な結び方をしてほどこてしまったら思いもよらない事故につながり、物が壊れたり、最悪の場合、命を失うことにもなりかねません。索の取扱いを適切に行えるように、この教務を通して基本的な結索法（結び方）を習得する必要があります。



「用意！」の号令により上の写真のような姿勢をとり、「ピッ！」という号笛の合図で一斉に結び始めます。





索端（結び目の先っぽ部分）の長さは短過ぎると結んだ箇所が解けてしまう恐れがあるため、索の直径の約10倍の長さを標準とされています。練習用の索の太さだと、おおよそ一握り半（握りこぶしに親指を立てた長さ）になります。



結び終わったら、教官に確認してもらいます。使い道によって色々な結び方があり、難しいですが、どれも役に立つ結び方ばかり。たくさん練習して自分のものにしましょう。